



DEEBOT **N20** PRO PLUS
DEEBOT **N20** PLUS
取扱説明書/Instruction Manual



安全に関する重要注意事項

安全に関する重要注意事項

本製品を使用する際は、以下を含む基本的な取扱注意事項に必ず従ってください。

本製品のご使用前に、すべての注意事項をお読みください。この取扱説明書は保管してください。

1. この機器は、安全に責任を負う人の監視又は指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）が単独で機器を使用することを意図していません。お子様が本製品を使って遊ばないようにしてください。
2. 掃除する場所を片付けてください。本製品に絡まる可能性のある電源コードや小さな物体は床から取り除いてください。カーペット等の敷物端のふさ飾りは敷物の下に押し込み、カーテンやテーブルクロスなどは床から持ち上げてください。
3. 掃除する領域内に段差や階段のような落下する場所がある場合は、本製品が段差を検知し、端から落下しないかどうかを確認してからご使用ください。段差を検知できない場合、落下を防止するために段差の縁に囲いを置いてください。段差に置いた囲いにつまづかないように注意してください。
4. 必ず本取扱説明書に記載されている通りに使用してください。メーカーによって推奨あるいは販売されている消耗品・付属品のみを使用してください。
5. ご使用環境で電源の電圧が、自動ゴミ収集ステーション

に記載されている電圧と一致していることを確認してください。

6. ご家庭の屋内でのみ使用するようにしてください。本製品は、屋外使用、商業または産業用途での使用を想定していません。
7. メーカーで推奨している充電式バッテリーおよび自動回収ステーションのみを使用してください。充電式ではないバッテリーは使用できません。バッテリーに関する詳細は、仕様記載部分をご確認ください。
8. ダストボックスやフィルターを所定の位置に取り付けていない状態で使用しないでください。
9. 火の灯ったロウソクや壊れやすい物のある場所で使用しないでください。
10. 極端な高温環境または低温環境（-5℃未満または40℃超）では使用しないでください。
11. 髪、絡まりやすい衣服、指、その他身体の一部を開口部や動いている部分に近づけないでください。
12. 幼児や子供が眠っている部屋で本製品を使用しないでください。
13. 濡れた床や水が溜まっている床で本製品を使用しないでください。
14. 本製品に石、大きな紙片、その他詰まる可能性のある物体を吸引させないでください。
15. ガソリン、プリンターやコピー機のトナーなど引火性あるいは可燃性の物質を本製品に吸わせないでください。またそのような物が存在する可能性のある場所で使用しないでください。
16. 燃えている、または煙が出ている物体（タバコ、マッチ、熱い灰など）を本製品に吸わせないでください。発火の

原因となります。

17. 吸入口に異物を入れないでください。吸入口が塞がれている場合は、使用しないでください。吸入口にほこり、糸くず、髪、その他空気の流れを弱める可能性のある物体がたまらないようにしてください。
18. 電源コードを損傷しないように注意してください。電源コードで本製品や自動回収ステーションを引っ張ったり、電源コードを持ち手にして運んだりしないでください。また電源コードを挟んだままドアを締めたり、鋭利な端や角の周辺で電源コードを引っ張ったりしないでください。電源コードの上で本製品を動作させないでください。電源コードは、熱を持った場所から離れた場所に置いてください。
19. 電源コードが損傷している場合は、危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による交換が必要になります。
20. 電源コードやコンセントに損傷がある場合は使用しないでください。本製品や自動回収ステーションが適切に動作しない場合、または落下、損傷、屋外放置、水濡れなどがあつた場合は、使用しないでください。危険を避けるため、メーカーまたはサービス代理店による修理が必要となります。
21. CH2403に適したリチウムバッテリータイプは、最大電池数8個、最大公称電圧DC 14.4 V、定格4,800mAhです。本製品を破棄する前に、バッテリーを取り外して、ご使用の地域の法規制に従って廃棄する必要があります。
22. 本製品の清掃やメンテナンス作業を行う前に、電源スイッチをオフにしてください。
23. 自動回収ステーションの清掃やメンテナンス作業前に

は、電源コードをコンセントソケットから外す必要があります。

24. 本製品を処分する場合は、バッテリーを取り外す前に、本製品を自動回収ステーションから外して電源スイッチをオフにしてください。
25. 本製品を破棄する前に、バッテリーを取り外して、ご使用の地域の法規制に従って廃棄する必要があります。
26. 使用済みのバッテリーは、各自治体の指示に従って廃棄するようにしてください。
27. 損傷が激しい場合でも、本製品は焼却しないでください。焼却するとバッテリーが爆発する可能性があります。
28. 長期間自動回収ステーションを使用しない時は、電源コードをコンセントソケットから外してください。
29. 本製品は、本取扱説明書の指示に従ってご使用ください。不適切な使用に起因するいかなる損傷および負傷について、ECOVACS ROBOTICSは責任を負いかねます。
30. ロボットのバッテリーは熟練者のみが交換できます。ロボットのバッテリーの交換については、サポートセンターまでお問い合わせください。
31. 長期間ロボットを使用しない場合には、ロボットの電源をオフにし、自動回収ステーションから外して保管してください。
32. **警告：バッテリーの充電には、本製品に付属している取り外し可能電源アダプターCH2403を必ず使用してください。**

デバイスの更新







一部のデバイスは、通常、隔月で更新されますが、絶対ではありません。

一部のデバイス、特に発売から3年以上経過したデバイスは、重大な脆弱性が見つかって修正された場合にのみ更新されます。

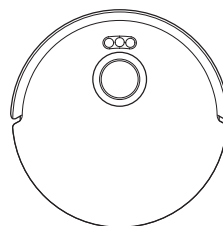
高周波 (RF) 曝露に関する要件を満たすために、本デバイスの動作中は本機器と人の間の距離を 20 cm 以上離れたままにする必要があります。

要件を順守するために、この距離よりも近い距離での動作はお勧めしません。この送信器に使用するアンテナは、他のアンテナや送信器と同じ場所に設置しないでください。

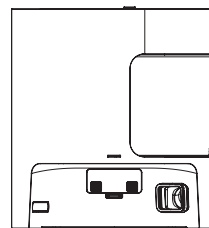
ロボットが常にネットワークに接続されていることを確認し、スマート機能が正常に機能するようにします。

	クラスII
	短絡防止の安全絶縁変圧器
	スイッチモード電源
	屋内使用専用
	直流
	交流
	(本製品を) 使用する前にすべての注意事項をお読みください
	遅延ミニチュアヒューズリンク

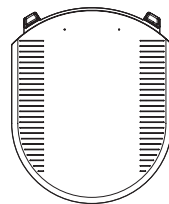
パッケージ内容



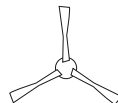
ロボット



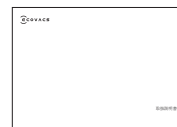
自動ゴミ収集ステーション



ベース

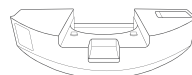


サイドブラシ



取扱説明書

OZMO Pro 2.0 振動モップシステムおよび吸引モジュール (DKX55)



OZMO Pro 2.0
振動モップシステム

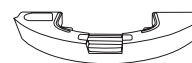


洗えるモップパッド

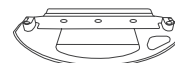


吸引モジュール
(取り付け済み)

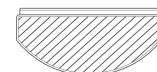
水タンクおよびモップパッドモジュール (DKX56)



タンク
(取り付け済み)



モップパッドプレート

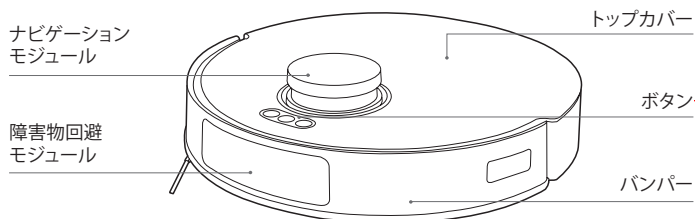


洗えるモップパッド

注:図はあくまで参考であり、実際の製品の外観とは異なる場合があります。製品のデザインおよび仕様は予告なく変更されることがあります。

製品名称

ロボット

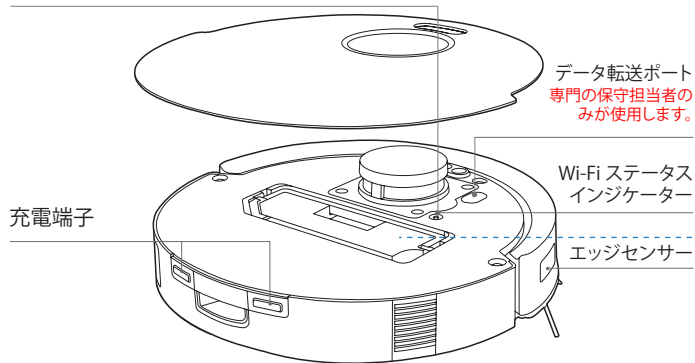


ボタン

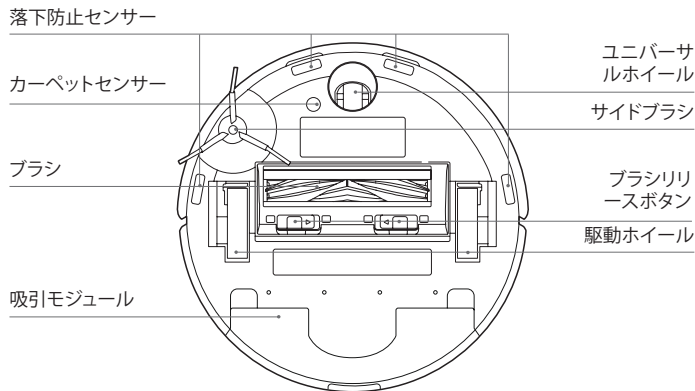
- 短押し: 充電に戻る
- 短押し: 開始 / 一時停止 / 続行 長押し: 電源のオン / オフ
- 短押し: スポットクリーニングの開始 / 終了 長押し: チャイルドロック

リセットボタン

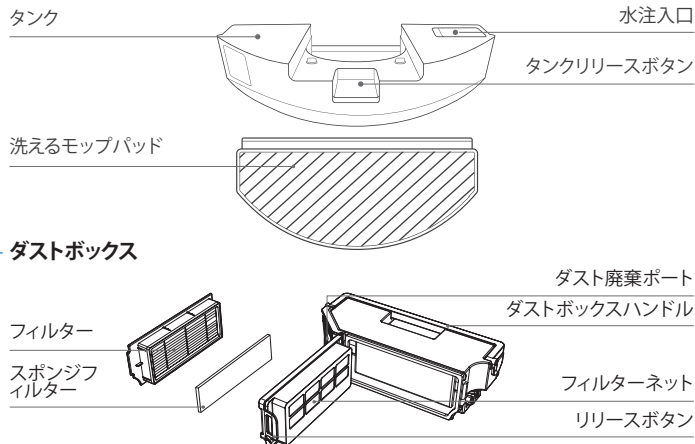
アプリの接続: リセットボタンを短く押し、音声プロンプトに従ってアプリに接続します。
デフォルト設定の復元: リセットボタンを 5 秒間長押しします。音声プロンプトが聞こえてから、始動時の音楽が再生され、ロボットはデフォルト設定に復元されます。



底面図 (DKX55)



OZMO Pro 2.0 振動モップシステム



底面図 (DKX56)

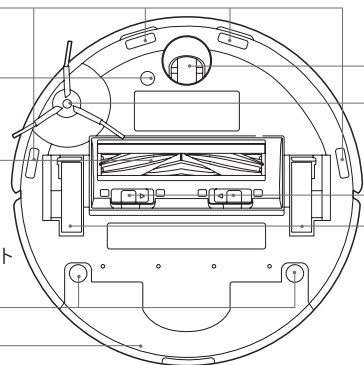
落下防止センサー

カーペットセンサー

ブラシ

モップパッドプレート
の取り付けスロット

タンク



ユニバーサル
ホイール

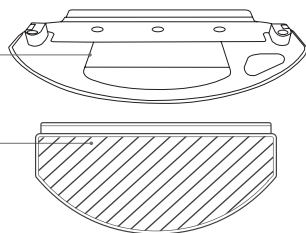
サイドブラシ

ブラシリ
リースボタン
駆動ホイール

モップパッドモジュール

モップパッドプレート

洗えるモップパッド



注:図はあくまで参考であり、実際の製品の外観とは異なる場合があります。製品のデザインおよび仕様は予告なく変更されることがあります。

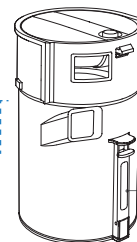
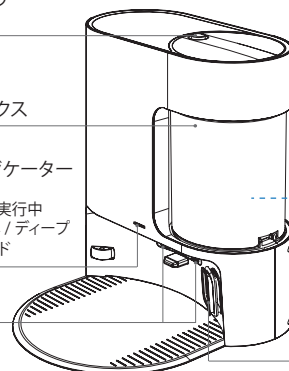
自動ゴミ収集ステーション

ボックスリ
リースボタン

ダストボックス

LED インジケーター
白色の点灯:
スタンバイ / 実行中
消灯電源なし / ディープ
スリープモード

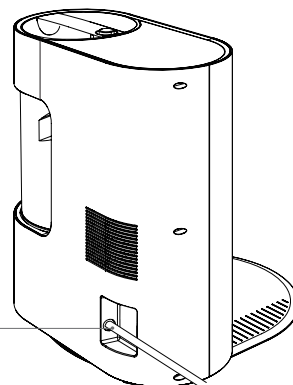
充電端子



ダストリ
リースボタン

自動回収吸気口

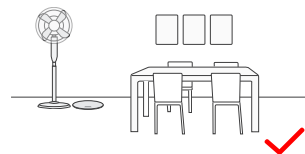
電源コード



センサー

名前	機能の説明
ナビゲーション モジュール	レーザー光を送信して周囲の物体からの反射を受信し、三角測量の原理を利用することで、DEEBOTと近くの物体との間の正確な距離測定情報をアルゴリズムで計算することができます。DEEBOTが特定の環境内を移動すると、周囲の物体の位置が特定され、DEEBOTの周囲の空間マップが作成されます。測定範囲は8 m です。
障害物回避モジュール	3組の赤外線送信機と受信機のペアで、赤外線反射の原理に基づいて動作し、信号強度によって障害物の距離を測定します。最大検出範囲は約 10 cm です。
落下防止センサー	赤外線距離測定により、DEEBOTの底部と床の間の距離を検出できます。前方に階段がある場合、または識別された距離がプリセットされた閾値を超えている場合は、DEEBOTは前進しないため、落下を防止します。トリガー距離は約 60 mm です。
カーペットセンサー	超音波プローブは、周波数 300 kHz の超音波を発することができます。超音波のエネルギーはカーペットに吸収されます。反射されたエネルギーがしきい値より低い場合、DEEBOTはカーペットの存在を認識します。ECOVACS研究所のテストによると、現在市場で入手可能な50種類以上のカーペットを識別できます。
エッジセンサー	赤外線距離測定により、DEEBOTは本体と物体の右側の間の距離を検出できます。右側に壁や障害物がある場合、DEEBOTは壁際掃除を実行して、掃除されない場所がないようにながら、衝突を回避します。
衝突防止センサー	送信された信号が障害物によって遮られると、信号レシーバーは信号を受信できなくなります。この動作原理により、ロボットは障害物と衝突する前に障害物を回避します。

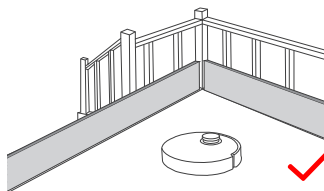
清掃運転前の注意



清掃する範囲を片付けて椅子などの家具を適切な場所に置いてください。



初めてご利用いただく際には、DEEBOTが家の中を十分に探索できるように、すべての部屋のドアが開いていることを確認してください。



段差を検知できない場合、落下を防止するために段差の縁に囲いを置いてください。



清掃効率を上げるため、コード、衣類、スリッパなど、床の上の物を片付けてください。



縁に飾り房の付いた敷物の上で本製品を使用する場合は、敷物の端を下に折り込んでください。



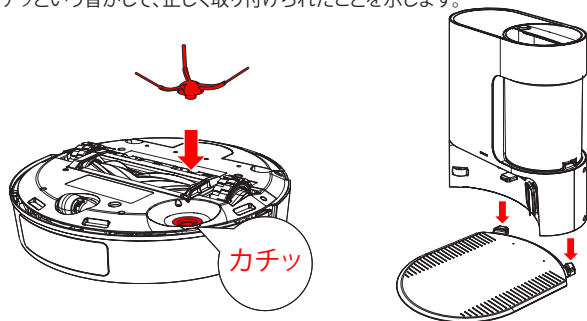
廊下などの狭い場所に立たないでください。また、センサーを遮らないようにしてください。

クイックスタート

使用前にすべての保護材を取り外してください。

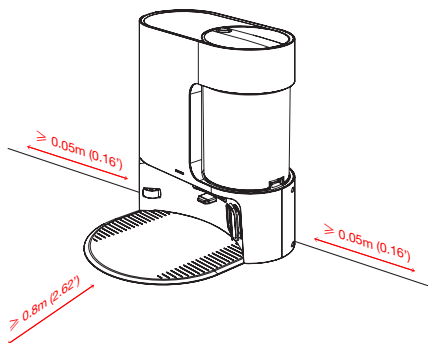
① 設置

カチッという音がして、正しく取り付けられたことを示します。



② 自動ゴミ収集ステーションを設置します

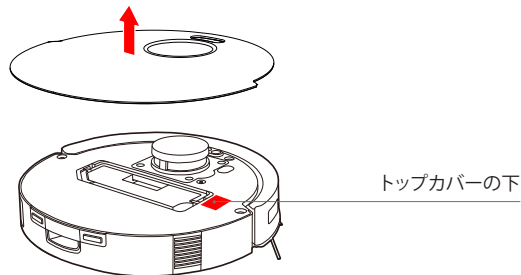
自動ゴミ捨てステーションの周囲には、特に表面が反射する物は置かないようにしてください。



ECOVACS HOME アプリのダウンロード

利用可能なすべての機能を利用するため、ECOVACS HOME アプリを使用して DEEBOT を制御することをお勧めします。

1. トップカバーの下の QR コードをスキャンし、アプリをダウンロードします。

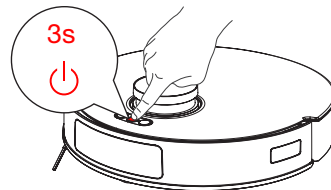


2. ECOVACS HOME を検索し、アプリをダウンロードします。



DEEBOT の電源を入れる

⏻を3秒間押し続けて DEEBOT の電源をオンにします。




DEEBOT とアプリの接続

Wi-Fi ネットワークの要件:

- 2.4 GHz または 2.4/5 GHz 混合ネットワークを使用している。
- ルーターが 802.11b/g/n および IPv4 プロトコルをサポートしている。
- VPN (仮想プライベートネットワーク) またはプロキシサーバーは使用しない。
- 隠しネットワークは使用しない。
- WPA および WPA2 で TKIP、PSK、AES/CCMP 暗号化を使用する。
- WEP EAP (エンタープライズ認証プロトコル) はサポートされていない。
- 北米では Wi-Fi チャンネル 1-11、北米以外ではチャンネル 1-13 を使用する (地域の規制機関を参照)。
- ネットワーク中継機 / リピーターを使用している場合、ネットワーク名 (SSID) とパスワードはプライマリネットワークと同じにする。
- ルーターで WPA2 を有効にする。

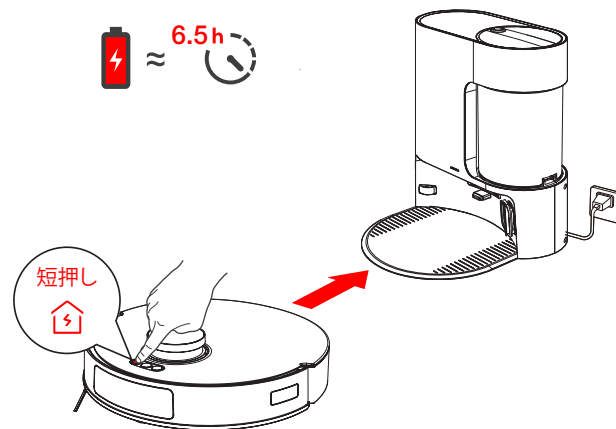
Wi-Fi インジケーター

	ゆっくり点滅:	Wi-Fi 接続なし
	速く点滅:	アプリの接続中
	オン	Wi-Fi に接続済み

遠隔起動、音声操作、2Dマップの表示/制御設定、パーソナライズされた清掃 (製品によって異なる) などのインテリジェント機能を実行するには、定期的に更新されている ECOVACS HOME アプリをダウンロードして使用する必要があります。製品を操作できるようにするには、基本的かつ必要な情報の一部を処理するために、プライバシーポリシーとユーザー契約に同意する必要があります。当社のプライバシーポリシーとユーザー契約に同意しない場合、ECOVACS HOME アプリから上記のインテリジェント機能の一部を利用できなくなりますが、本製品の基本機能を手動操作で使用することはできます。

DEEBOT の充電

 短く押すと、DEEBOT が自動ゴミ収集ステーションに戻り、充電します。

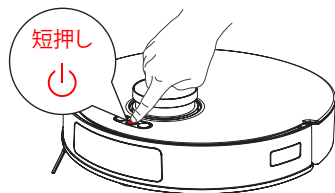


DEEBOT の操作

マッピングする前にモップパッドプレート或いはモジュールを取り外します。マップを初めて作成する場合は、DEEBOTの後を歩きながら小さな障害物をどけてください。たとえば、DEEBOTが家具の下で引っかかったときなどです。次の解決法を参照してください。

- ① 高さの低い家具の場合は、可能であれば持ち上げます。
- ② 家具の下部に覆いをかけます。
- ③ アプリを使用してバーチャルボーダーを設定します。

最初に掃除をする前に、DEEBOTが充電ステーション内にあり、完全に充電されていることを確認してください。⏻を短く押すと、クリーニングとマッピングが開始されます。



注:

- 洗えるモップパッドは頻繁に取り外さないようにしてください。
- 布などの物でモップパッドプレートを引っかくことは避けてください。
- ECOVACS HOMEアプリがモップの交換を促すメッセージを表示したら、適時交換してください。その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOMEアプリまたは <https://www.ecovacs.com/global> をご参照ください。

定期メンテナンス

メンテナンス頻度

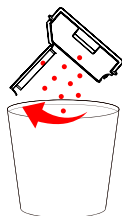
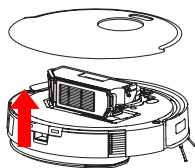
最適な性能を確保するため、以下の頻度でメンテナンス作業を行い、部品を交換してください。

部品	メンテナンス 周波数	交換 周波数
洗えるモップパッド	毎回のクリーニング 後	1～2 ヶ月ごと
サイドブラシ	2 週ごと	3～6 ヶ月ごと
ブラシ	毎週	6～12 ヶ月ごと
フィルター	毎週	3～6 ヶ月ごと
ナビゲーションモジュール 障害物回避モジュール 落下防止センサー カーペットセンサー エッジセンサー バンパー 充電端子 ユニバーサルホイール	毎週	/
ダストボックス	毎回のクリーニング 後	1～2 ヶ月ごと
ダストコンテナフィルター	3～6 ヶ月ごと	3～6 ヶ月ごと / 何度も 洗った後

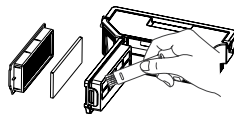
注: その他のアクセサリーについては、ECOVACS HOME アプリまたは <https://www.ecovacs.com/global> をご参照ください。

ダストボックスのメンテナンス

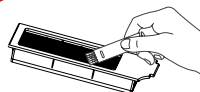
①



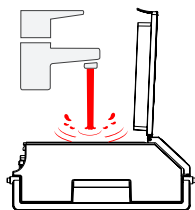
②



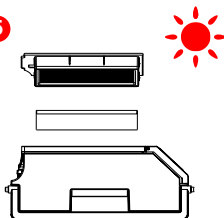
③



④



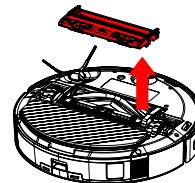
⑤



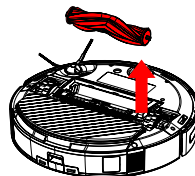
注：使用する前にフィルターを完全に乾かしてください。
 フィルターや掃除用具は、
 ECOVACS HOMEアプリストアまたは以下のECOVACS公式オンラインストア
<https://www.ecovacs.com/global>で購入することをお勧めします。

メインブラシとサイドブラシのメンテナンス

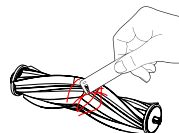
①



②

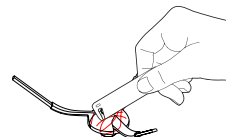


③



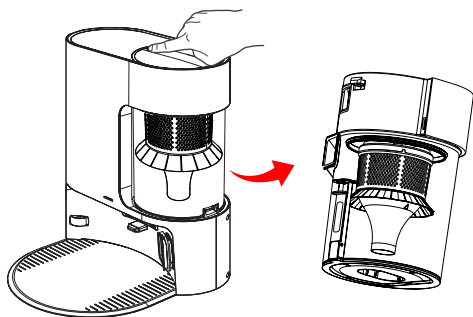
サイドブラシ

①

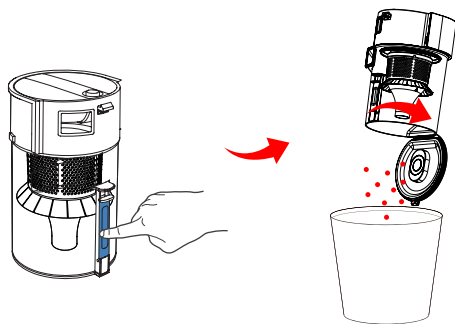


ダストコンテナとそのフィルター

- ❶ ダストボックスのリリースボタンを押して、ダストボックスを取り外します。

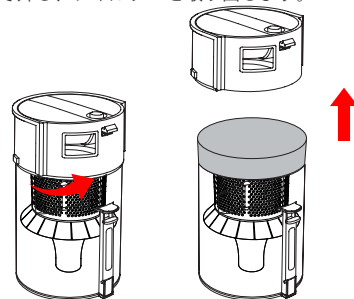


- ❷ ダストリリースストグルを押してダストビン底を開け、ゴミ箱を空にします。

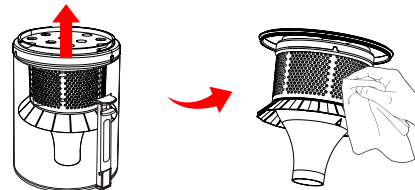


* フィルターは6ヶ月ごとに清掃することをお勧めします。洗って干して再利用することもできるし、新しいものを購入することもできます。

- ❸ 上部をひねって外し、フィルターを取り出します。

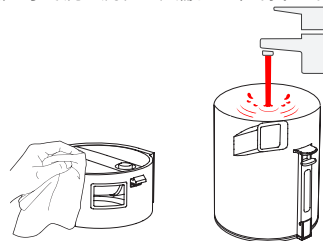


- ❹ マルチコーン構造を取り外します。



* マルチコーン構造を洗うことは推奨されません。必要であれば、濡れた布で拭き、自然乾燥させてもよい。

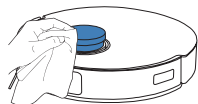
- ❺ ダスト容器を水で洗い流すか、濡れた布で拭いてください。



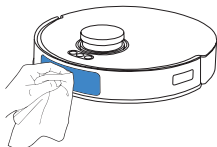
* ダストコンテナは必ず自然乾燥させてからご使用ください。

その他の部品のメンテナンス

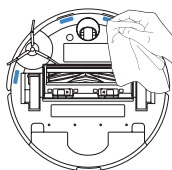
ナビゲーション
モジュール



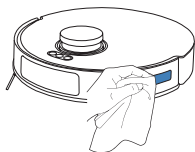
障害物回避モジュール



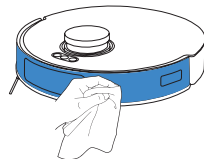
落下防止センサー



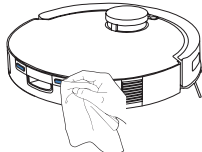
エッジセンサー



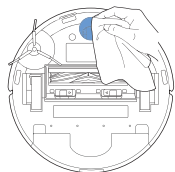
バンパー



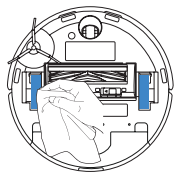
充電端子



ユニバーサルホイール



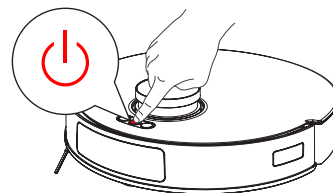
駆動ホイール



保管

電源ボタンを5秒間押してロボットの電源をオフにします。

ロボットを保管する際は、必ず充電を完了し、電源を切った状態で保管してください。バッテリーの過放電を防ぐため、1.5ヵ月ごとに再充電してください。



電源がオフの場合は充電できませんのでご注意ください。

* ロボットを使用していないときは、次のクリーニングサイクルに備えて、電源を入れたまま充電しておくことをお勧めします。

* バッテリーが過放電になったり、長期間使用されない場合、ロボットが正しく充電されないことがあります。その場合は、弊社までご連絡ください。ご自身でバッテリーを分解しないでください。

トラブルシューティング

番号	異常	考えられる原因	解決策
1	ロボットは ECOVACS HOME アプリに接続できない。	入力したWi-Fiのユーザー名とパスワードが正しくありません。	正しいWi-Fiユーザー名とパスワードを入力してください。
		ロボットがご自宅のWi-Fi信号の範囲外にある可能性があります。	ロボットがご自宅のWi-Fi信号の範囲内にあることを確認してください。
		ロボットが設定状態ではない。	ロボットの電源を入れたら、RESETボタンを押し、ネットワークセットアップ開始の音声プロンプトが聞こえたら離します。Wi-Fiインジケータが点滅し、ロボットが設定状態にあることを示します。
		2.4GHzまたは2.4/5GHz混合ネットワークを使用していません。	ロボットは現在、5 GHzのネットワークをサポートしていません。代わりに2.4GHzまたは2.4/5GHzの オプションをご使用ください。
		正しくないアプリがインストールされていました。	ECOVACS HOMEアプリをダウンロードしてインストールしてください。
2	マップが失われました。	清掃時にロボットを移動させると、マップが失われることがあります。	ロボットをステーションの前面に移動して、マップを取得します。復元されたマップをマップ管理で探し、「このマップを使用する」をタップして取得します。この問題が解決できない場合は、マッピングを再度開始してください。
3	アプリで家具マップを作成できません。	ロボットがステーションから清掃を開始しません。	ロボットはステーションから清掃を開始する必要があります。
		清掃時にロボットを動かしたため、マップが失われた可能性があります。	清掃中は、ロボットを動かさないでください。
		自動清掃が完了していない。	清掃後、ロボットが自動的にステーションに戻ることを確認します。
4	信号が見つからない。ステーションに戻ることができない。	ステーションが適切に配置されていない。	「DEEBOTの充電」セクションの手順に従って、ステーションを適切に設置してください。
		ステーションの電源が切れているか、手で移動された。	ステーションが電源に接続されているかどうかを確認します。ステーションを手で移動させないでください。
		ロボットがステーションから清掃を開始しません。	清掃はステーションから開始するようにしてください。
		充電ルートがブロックされている。たとえば、ステーションがある部屋のドアが閉じている場合など。	充電ルートに遮蔽物がないようにします。
5	ロボットが清掃を完了する前に、ステーションに戻ります。	部屋が広いため、ロボットは再充電のために戻る必要があります。	自動再開を有効にしてください。詳細については、アプリのガイドに従ってください。
		特定の領域が家具や囲いでブロックされていて、ロボットが到達できない。	家具や小さな物を適切な場所に置いて、清掃する範囲を片付けてください。

番号	異常	考えられる原因	解決策
6	ロボットを充電できません。	ステーションが電源に接続されていない。	ステーションが電源に接続されており、インジケータライトが点灯していることを確認してください。
		ロボットの充電接点gstステーションの充電接点と完全に接触していない。	ロボットの充電接点gstステーションと完全に接触し、ボタンが点滅していることを確認してください。ロボットとステーションの充電端子が汚れていないか確認します。「定期メンテナンス」セクションの手順に従って、これらの部品をクリーニングしてください。
		バッテリー温度が高すぎるか低すぎる。	0~40℃の温度範囲でご充電・使用ください。
		長期間使用しないことによるバッテリーの過放電。	本製品を定期的に使用することをお勧めします。長時間の不使用により充電に問題が生じた場合は、カスタマーサービスまでご連絡ください。
7	清掃時にロボットが大きな音がします。	ブラシまたはサイドブラシが絡まっている、またはダストボックス/フィルターが詰まっています。	サイドブラシ、メインブラシ、ダストボックス、フィルターなどは定期的に清掃することをお勧めします。
		ロボットが徹底モードになっている	標準モードに切り替えます。
8	清掃中に掃除機本体が動けなくなって停止する。	床の上の物（電源コード、カーテン、敷物の縁など）が絡まっている可能性があります	掃除機本体は、自ら絡まった物を外そうとします。絡まったものが外れない場合は、手で障害物を取り除いて再起動してください。
		床との隙間がロボットと同じくらいの高さである家具の下でロボットが動けなくなっている可能性がある。	家具を上げるか、物理的なバリアーを設置するか、ECOVACS HOMEアプリでバーチャルバウンダリーを設定してください。
9	清掃中にロボットは、整理されていないルート、偏った動き、同じ場所を繰り返し通過すること、そして小さなエリアを見落とすなどの問題に遭遇することがあります。（一時的に広い範囲を掃除しそこなっても、ロボットが自律的に戻ってくるので安心だ）	ワイヤーやスリッパなどの床に置かれている物が、ロボットの通行を妨げることになります。	清掃の前に、床に落ちている針金、スリッパ、その他の物をできるだけ片づけてください。清掃漏れのエリアがある場合、ロボットは自動的にそのエリアに対応します。妨害行為（ロボットの移動や進路妨害など）はご遠慮ください。
		ロボットが段差、敷居、ドアバーに乗り上げた場合、駆動ホイールが床面でスリップすることがあり、ホーム全体の環境判断に影響を与えることがあります。	この領域のドアを閉じて、個別に清掃することをお勧めします。清掃後、ロボットは開始場所に戻ります。この方法を安心してご利用ください。
		ワックスを塗ったり磨いたりした床や滑らかなタイルの場合、駆動ホイールと床の間の摩擦が少なくなることがあります。	ワックスが乾くまで待ってから清掃してください。
		家の中の状況が変わるため、一部の領域を清掃できない。	ロボットが入って清掃できるように、家の中を片付けてください。
		ナビゲーションモジュールが汚れているか、異物で塞がれている可能性があります。	清潔な柔らかい布で拭くか、異物を取り除きます。

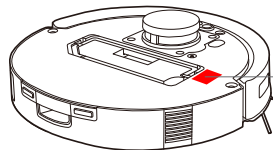
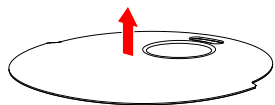
番号	異常	考えられる原因	解決策
10	ステーションに戻った後、ロボットがダストボックスを空にしない。	ロボットを手動でステーションに戻すと、自動廃棄機能が開始されない場合がある。	ロボットをステーションに戻るまで待つことをお勧めします。手動で移動しないでください。
		サイレントモードでは、ロボットをステーションに戻った後もごみを廃棄しません。	ECOVACS HOMEアプリでお休みモードをオフにするか、手作業でごみを空にします。
		上記の可能性が排除された場合、ステーションのコンポーネントが異常である可能性があります。	サポートセンターにお問い合わせください。
11	自動ゴミ収集失敗しました。	ダストビンの排出口が異物でふさがれています。	ダストボックスを取り外して、吹き出し口の異物を取り除きます。
12	清掃時にほこりが漏れる。	ダストボックスの吹き出し口が異物によって塞がれている。	ダストボックスを取り外して、吹き出し口の異物を取り除きます。
13	リザーバー／ダスト容器が落下します。	正しく取り付けられていません。	カチッと音がすることを確認してください。
14	駆動ホイールが動けなくなっています。	駆動ホイールがからまっているか、異物が引っかかっています。	駆動輪を回転させたり押ししたりして、異物の巻き込みや障害物がないか確認してください。異物を発見した場合は、速やかに清掃してください。この問題が解決しない場合は、カスタマーサービスまでお問い合わせください。
15	ロボットが自動再開に失敗しました。	ロボットはお休みモードです。	ロボットがDo Not DisturbモードでAuto Resumeを実行できません。
		ロボットが自動的にステーションに戻りません。	手動でロボットをステーションに戻しても、Auto Resumeは有効になりません。
16	予定時刻に清掃タスクが実行されません。	スケジュールがキャンセルされました。	清掃タスクを再スケジュールしてください。
		本体のバッテリーが消耗している。	充電してください。.
		ロボットはお休みモードです。	Do Not Disturbモードでは、ロボットは定期清掃を実行できません。

技術仕様

型番	DKX55/DKX56		
定格入力	20 V === 1 A	充電時間	6.5 時間
自動ゴミ収集ステーション	CH2403		
定格入力	100 V ~ 50-60 Hz		
定格入力電流 (充電)	0.5 A	定格出力	20 V === 1 A
電力 (ゴミ回収)	1000 W		
DEEBOT 寸法 (L*W*H mm)	353*351*96		
自動ゴミ回収ステーション寸法 (L*W*H mm)	356*451*380		

Wi-Fi モジュールの出力電力は 100 mW 未満です。

注:本製品は品質向上のため技術仕様やデザイン仕様の変更を行う場合があります。
その他の付属品をお探しの際は、<https://www.ecovacs.com/global> をご覧ください。



携帯電話のカメラで QR コードをスキャンし、
ユーザーガイドを取得してください。

Important Safety Instructions

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

When using an electrical Appliance, basic precautions should always be followed, including the following:

READ ALL INSTRUCTIONS BEFORE USING THIS APPLIANCE SAVE THESE INSTRUCTIONS

1. This product is not intended for use by individuals (including children) who require assistance unless supervised or instructed by a person responsible for their safety. Please ensure that children do not play with this product.
2. Clear the area to be cleaned. Remove power cords and small objects from the floor that could entangle the Appliance. Tuck rug fringe under the rug base, and lift items such as curtains and tablecloths off the floor.
3. If there is a drop off in the cleaning area due to a step or stairs, you should operate the Appliance to ensure that it can detect the step without falling over the edge. It may become necessary to place a physical barrier at the edge to keep the unit from falling. Make sure the physical barrier is not a trip hazard.
4. Only use as described in this manual. Only use attachments recommended or sold by the manufacturer.
5. Please make sure your power supply source voltage matches the power voltage marked on the Auto-Empty Station.
6. For INDOOR household use ONLY. Do not use the Appliance in outdoor, commercial or industrial environments.
7. Use only the original rechargeable battery and Auto-Empty Station provided with the Appliance from the manufacturer. Non-rechargeable batteries are prohibited. For battery information, please refer to Specifications section.
8. Do not use without dust bin and/or filters in place.
9. Do not operate the Appliance in an area where there are lit candles or fragile objects.
10. Do not use in extremely hot or cold environments (below -5°C/23°F or above 40°C/104°F).
11. Keep hair, loose clothing, fingers, and all parts of body away from any openings and moving parts.
12. Do not operate the Appliance in a room where an infant or child is sleeping.
13. Do not use Appliance on wet surfaces or surfaces with standing water.
14. Do not allow the Appliance to pick up large objects like stones, large pieces of paper or any item that may clog the Appliance.
15. Do not use Appliance to pick up flammable or combustible materials such as gasoline, printer or copier toner, or use in areas where they may be present.
16. Do not use Appliance to pick up anything that is burning or smoking, such as cigarettes, matches, hot ashes, or anything that could cause a fire.









17. Do not put objects into the suction intake. Do not use if the suction intake is blocked. Keep the intake clear of dust, lint, hair, or anything that may reduce air flow.
18. Take care not to damage the power cord. Do not pull on or carry the Appliance or Auto-Empty Station by the power cord, use the power cord as a handle, close a door on the power cord, or pull power cord around sharp edges or corners. Do not run Appliance over the power cord. Keep power cord away from hot surfaces.
19. If the power cord is damaged, it must be replaced by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
20. Do not use with a damaged power cord or receptacle. Do not use the Appliance or Auto-Empty Station if it is not working properly, has been dropped, damaged, left outdoors, or come in contact with water. It must be repaired by the manufacturer or its service agent in order to avoid a hazard.
21. The lithium battery type suitable for CH2403 is Max. 8 cells, max. nominal voltage DC 14.4V, rated capacity 4,800mAh. The battery must be removed and discarded according to local laws and regulations before disposal of the Appliance. Turn OFF the power switch before cleaning or maintaining the Appliance.
22. Turn OFF the power switch before cleaning or maintaining the Appliance.
23. The plug must be removed from the receptacle before cleaning or maintaining the Auto-Empty Station.
24. Remove the Appliance from the Auto-Empty Station, and turn OFF the power switch to the Appliance before removing the battery for disposal of the Appliance.
25. The battery must be removed and discarded according to local laws and regulations before disposal of the Appliance.
26. Please dispose of used batteries according to local laws and regulations.
27. Do not incinerate the Appliance even if it is severely damaged. The batteries can explode in a fire.
28. When not using the Auto-Empty Station for a long period of time, please unplug it.
29. The Appliance must be used in accordance with the directions in this Instruction Manual. ECOVACS ROBOTICS cannot be held liable or responsible for any damages or injuries caused by improper use.
30. The robot contains batteries that are only replaceable by skilled persons. To replace the robot's battery, please contact Customer Service.
31. If the robot will not be used for a long time, power OFF the robot for storage and unplug the Auto-Empty Station.
- 32. WARNING: For the purposes of recharging the battery, only use the detachable supply unit CH2403 provided with the Appliance.**

Device Update

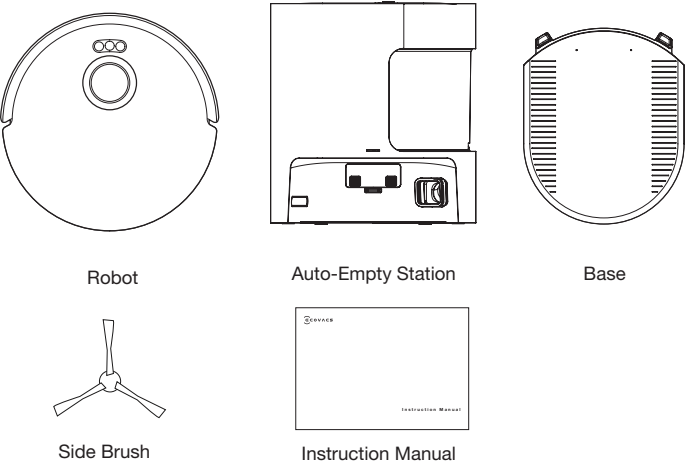
Typically, some devices are updated bi-monthly, but not always so specific. Some devices, especially those that went on sale more than three years ago, will only be updated if a critical vulnerability is found and fixed.

To satisfy RF exposure requirements, a separation distance of 20 cm or more should be maintained between this device and persons during device operation. To ensure compliance, operations at closer than this distance is not recommended. The antenna used for this transmitter must not be co-located in conjunction with any other antenna or transmitter.

Ensure the robot is always connected to a network, for smart features to function properly.

	Class II
	Short-circuit-proof safety isolating transformer
	Switch mode power supply
	For indoor use only
	Direct current
	Alternating current
	Read all instructions before using (this appliance)
	Time-lag miniature fuse-link

PACKAGE CONTENTS



OZMO Pro 2.0 Vibrating Mopping System and Vacuum Module (DKX55)



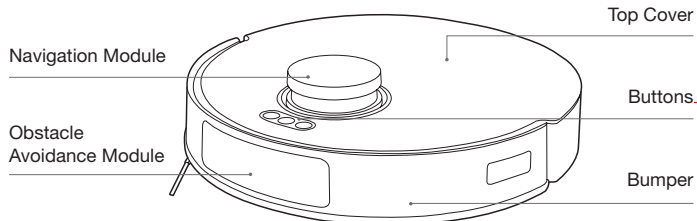
Water Tank and Mopping Pad Module (DKX56)



Note: Figures and illustrations are for reference only and may differ from actual product appearance. Product design and specifications are subject to changes without notice.

PRODUCT DIAGRAM

Robot



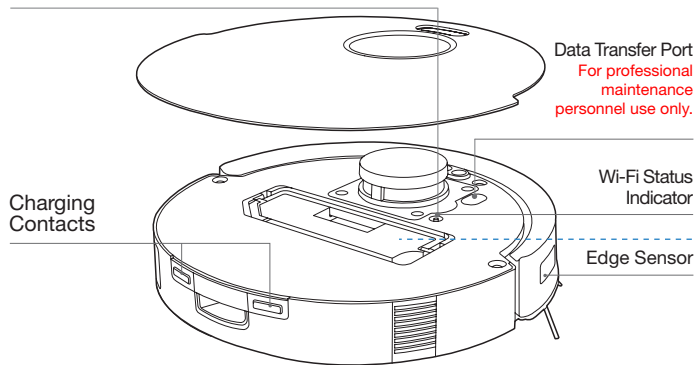
Buttons

- Short Press: Return to charge
- Short Press: Start/Pause/Continue Long Press: Power on/off
- Short Press: Start/End Spot Clean Long Press: Child Lock

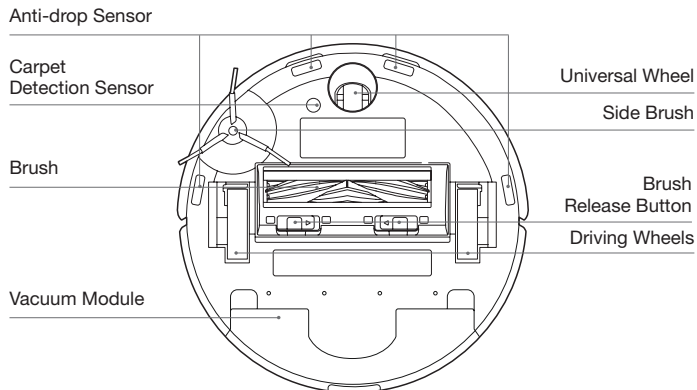
RESET Button

Connect to APP: Short press RESET button and follow voice prompts to connect to the App.

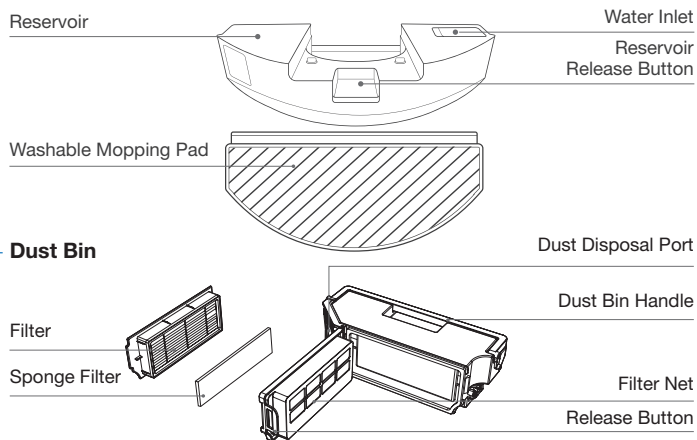
Restore to default settings: Press and hold RESET Button for 5 s. After you hear the voice prompt, the startup music will be played and the robot will be restored to default settings.



Bottom View (DKX55)



OZMO Pro 2.0 Vibrating Mopping System



Bottom View (DKX56)

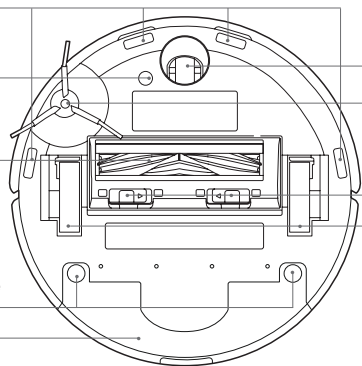
Anti-drop Sensor

Carpet
Detection Sensor

Brush

Mounting Slots for
Mopping Pad Plate

Reservoir



Universal Wheel

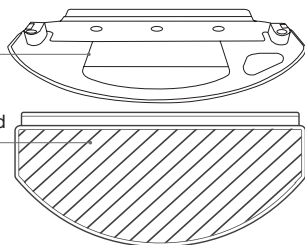
Side Brush

Brush
Release Button
Driving Wheels

Mopping Pad Module

Mopping Pad Plate

Washable Mopping Pad



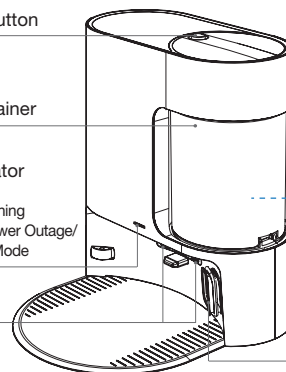
Auto-Empty Station

Container
Release Button

Dust Container

LED Indicator
Solid White:
Standby/Running
Goes out: Power Outage/
Deep Sleep Mode

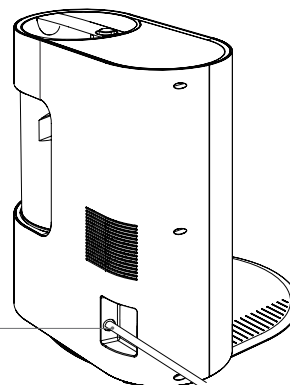
Charging
Contacts



Dust
Release Toggle

Auto-Empty Inlet

Power Cord

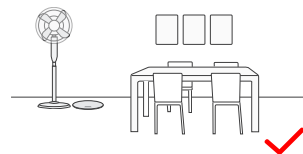


Note: Figures and illustrations are for reference only and may differ from actual product appearance. Product design and specifications are subject to changes without notice.

SENSORS

Name	Functional Description
Navigation Module	By utilizing the principle of triangulation, which involves emitting and receiving laser beams reflected by surrounding objects, precise distance measurement information between the DEEBOT and nearby objects can be calculated through algorithms. When the DEEBOT moves within a certain environment, the positions of surrounding objects are determined to create a spatial map of the DEEBOT's surroundings. The measurement range is 8 m.
Obstacle Avoidance Module	With three sets of infrared transmitter and receiver pairs, it operates on the principle of infrared reflection to gauge obstacle distances by signal strength. The maximum detection range is approx. 10 cm.
Anti-drop Sensor	With infrared distance measurement, the infrared sensor can detect the distance between the bottom of DEEBOT and ground. DEEBOT will not move forward when there are stairs in front or the identified distance exceeds the preset threshold, realizing the Anti-drop. The trigger distance is approx. 60 mm.
Carpet Detection Sensor	The ultrasound probe can emit ultrasonic waves with a frequency of 300KHZ. The energy of the ultrasonic waves is absorbed by the carpet. If the reflected energy is below the threshold, the DEEBOT recognizes the presence of the carpet. According to ECOVACS lab tests, currently, over 50 types of carpets available on the market can be identified.
Edge Sensor	With infrared distance measurement, DEEBOT can detect the distance between itself and objects on its right side. When there is a wall or obstacle on the right side, DEEBOT will perform edge cleaning to avoid missing spots or collisions.
Anti-collision Sensor	When the transmitted signal is blocked by an obstacle, the signal receiver will not be able to receive the signal. With this principle, the robot will avoid obstacles when colliding with them.

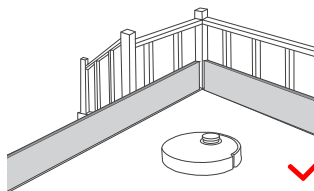
NOTES BEFORE CLEANING



Tidy up the area to be cleaned by putting furniture, such as chairs, in their proper place.



During the first use, make sure each room door is open to help DEEBOT fully explore your house.



It may be necessary to place a physical barrier at the edge of a drop to stop the unit from falling over the edge.



Put away objects including cables, cloths and slippers, etc. on the floor to improve the cleaning efficiency.



Before using the product on a rug with tasseled edges, please fold the rug edges under.



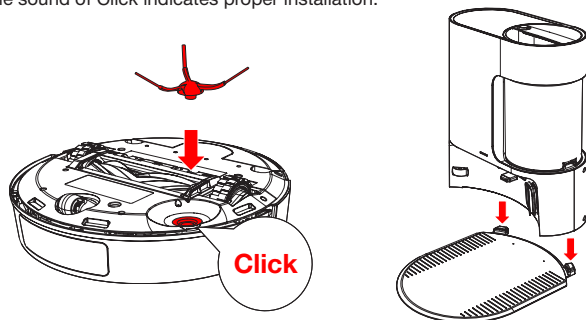
Please do not stand in narrow spaces, such as hallways, and make sure not to block sensors.

QUICK START

Please remove all protective materials before use.

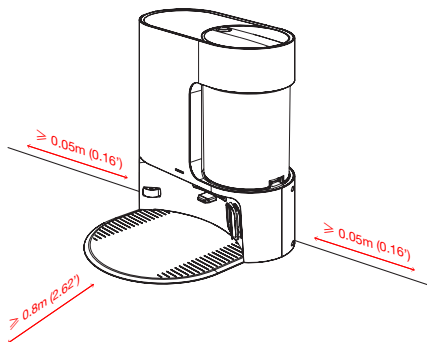
1 Installation

The sound of Click indicates proper installation.



2 Place the Auto-Empty Station

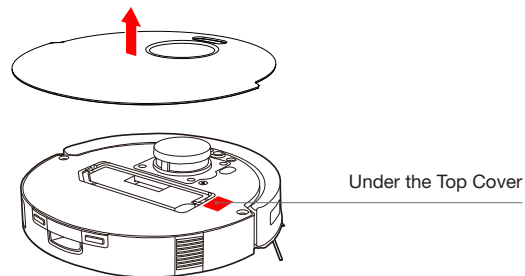
Keep the area around the Auto-Empty Station clear of objects, especially objects with reflective surfaces.



DOWNLOAD THE ECOVACS HOME APP

To enjoy all available features, it is recommended to control your DEEBOT via the ECOVACS HOME App.

1. Scan the QR Code under the Top Cover to download the App.

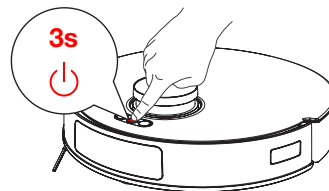


2. Search ECOVACS HOME to download the App.



POWER ON DEEBOT

Press and hold  for 3 seconds to power on DEEBOT.




CONNECT DEEBOT WITH APP

Wi-Fi Network Requirements:

- You are using a 2.4 GHz or 2.4/5 GHz mixed network.
- Your router supports 802.11b/g/n and IPv4 protocol.
- Do not use a VPN (Virtual Private Network) or Proxy Server.
- Do not use a hidden network.
- WPA and WPA2 using TKIP, PSK, AES/CCMP encryption.
- WEP EAP (Enterprise Authentication Protocol) is not supported.
- Use Wi-Fi channels 1-11 in North America and channels 1-13 outside North America (refer to local regulatory agency).
- If you are using a network extender/repeater, the network name (SSID) and password are the same as your primary network.
- Please enable the WPA2 on your router.

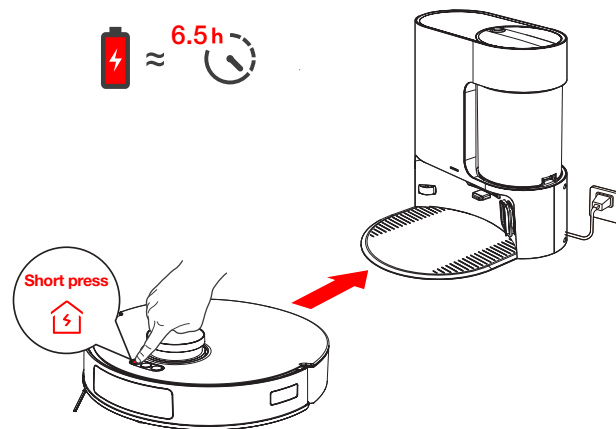
Wi-Fi Indicator

	Flashing slowly	Disconnected to Wi-Fi
	Flashing quickly	Connecting the App
	On	Connected to Wi-Fi

Please be aware that the realization of intelligent functions such as remote startup, voice interaction, 2D map display and control settings, and personalized cleaning (depending on different products) requires users to download and use the ECOVACS HOME App, which is constantly updated. You need to agree to our Privacy Policy and User Agreement before we can process some of your basic and necessary information and enable you to operate the product. If you do not agree with our Privacy Policy and User Agreement, some of the aforementioned intelligent functions cannot be realized through the ECOVACS HOME App, but you can still use the basic functions of this product for manual operation.

CHARGE DEEBOT

Short press  to recall DEEBOT back to the Auto-Empty Station to charge.




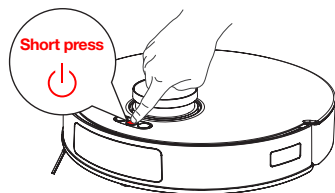
OPERATE DEEBOT

Remove the Mopping Pad Plate/Module before mapping. When creating a map for the first time, please follow DEEBOT to help eliminate some minor issues.

For example, DEEBOT may get stuck under the furniture. Please refer to the following solutions:

- ① Raise your low sitting furniture if possible;
- ② Cover the bottom of the furniture;
- ③ Set up Virtual Boundary via the App.

Before first vacuuming, please make sure DEEBOT is in the Auto-Empty Station and fully charged. Short press  to start cleaning and mapping.



Note:

- Do not frequently remove washable mopping pads.
- Do not use a rag or any other object to scratch the Moping Pad Plate.
- When the ECOVACS HOME App prompts that the mopping pad needs to be replaced, please replace it in time. Explore more accessories at ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com/global>.

REGULAR MAINTENANCE

Maintenance Frequency

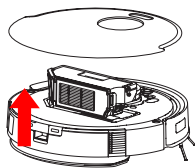
To ensure optimal performance, perform maintenance tasks and replace parts at the following frequencies:

Part	Maintenance Frequency	Replacement Frequency
Washable Mopping Pads	After each cleaning	Every 1-2 months
Side Brush	Every 2 weeks	Every 3-6 months
Brush	Every week	Every 6-12 months
Filter	Every week	Every 3-6 months
Navigation Module Obstacle Avoidance Module Anti-drop Sensors Carpet Detection Sensor Edge Sensor Bumper Charging Contacts Universal Wheel	Every week	/
Dust Container	After each cleaning	Every 1-2 months
Dust Container Filter	Every 3-6 months	Every 3-6 months/After multiple washes

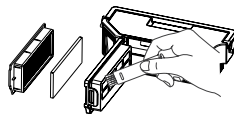
Note: Explore more accessories in the ECOVACS HOME App or at <https://www.ecovacs.com/global>.

Maintain Dust Bin

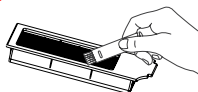
1



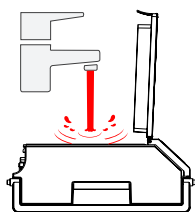
2



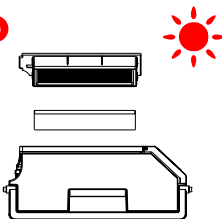
3



4



5



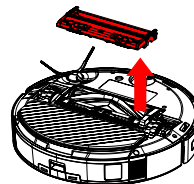
Note: Completely dry the Filter before use.

It is recommended that you purchase filters and cleaning tools from the ECOVACS HOME App store or the official ECOVACS online store at <https://www.ecovacs.com/global>.

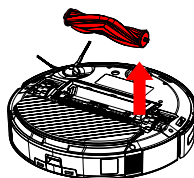
MAINTAIN BRUSH AND SIDE BRUSH

Brush

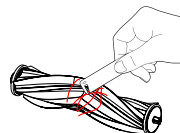
1



2

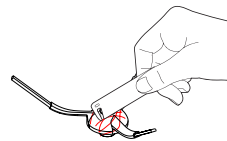


3



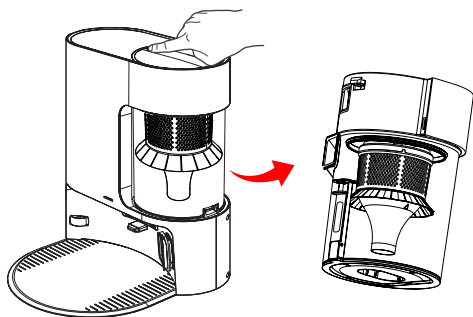
Side Brush

1

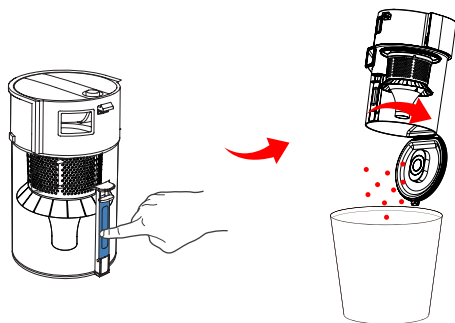


Dust Container and Its Filter

- 1 Press the Container Release Button, and remove the Dust Container.

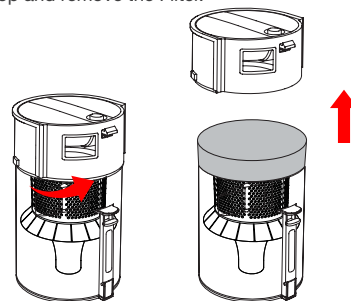


- 2 Press the Dust Release Toggle to open the bottom of the Dust Bin, and empty the trash.

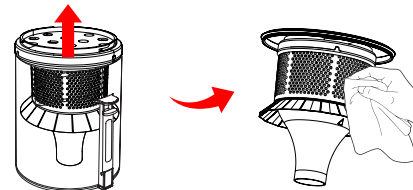


* It is recommended that you clean the Filter every 6 months. You can wash and air-dry it for reuse, or purchase a new one.

- 3 Twist off the top and remove the Filter.

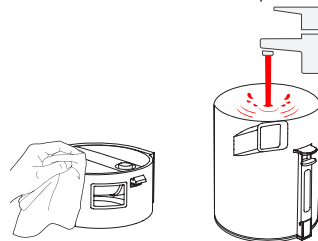


- 4 Remove the multi-cone structure.



* It is not recommended to wash the multi-cone structure. If needed, you can use a wet cloth to wipe it and let it air-dry.

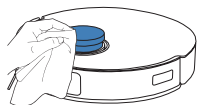
- 5 Rinse the Dust Container with water or wipe it with a wet cloth.



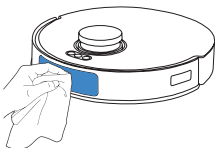
* Please make sure to air-dry the Dust Container before using it again.

MAINTAIN OTHER COMPONENTS

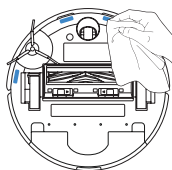
Navigation Module



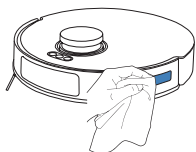
Obstacle Avoidance Module



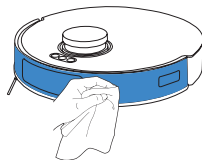
Anti-drop Sensors



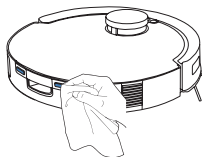
Edge Sensor



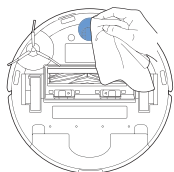
Bumper



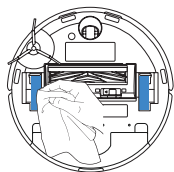
Charging Contacts



Universal Wheel



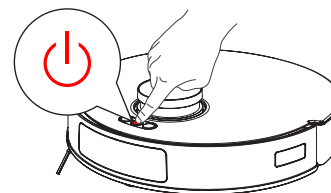
Driving Wheels



Storage

Press the Power Button for 5 s to power the robot off.

Make sure to fully charge and power OFF the robot before storing it. Recharge it every 1.5 months to prevent the battery from over-discharging.



Please note that the robot cannot charge when powered OFF.

* when the robot is not in use, it is recommended to keep it powered ON and charging, to prepare for the next cleaning cycle.

* If the battery becomes over-discharged or remains unused for an extended period, the robot may not charge properly. In this case, please contact us for assistance. Do not attempt to disassemble the battery on your own.

TROUBLESHOOTING

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
1	The robot is not able to connect to ECOVACS HOME App.	Incorrect Wi-Fi username and password entered.	Make sure to enter correct Wi-Fi username and password entered.
		The robot is not within range of your home Wi-Fi signal.	Make sure that the robot is within range of your home Wi-Fi signal.
		The robot is not in the configuration state.	When the robot is powered on, press the RESET Button and release it after hearing the voice prompt for starting network setup. The Wi-Fi indicator will flash, indicating that the robot is in the configuration state.
		You are not using a 2.4GHz or 2.4/5 GHz mixed network.	The robot currently does not support 5 GHz networks. Please use the 2.4 GHz or 2.4/5 GHz options instead.
		Incorrect app installed.	Please download and install the ECOVACS HOME App.
2	The map is lost.	The map might be lost if you move the robot when cleaning.	Move the robot to the front of the Station to retrieve the map. Find the restored map in Map Management and tap "Use This Map" to retrieve it. If this issue persists, please restart mapping.
3	Unable to create the furniture map in the App.	The robot does not start cleaning from the Station.	The robot must start cleaning from the Station.
		Moving the robot during cleaning might cause the map to be lost.	During cleaning, do not move the robot.
		Auto cleaning is not finished.	Make sure the robot automatically return to the Station after cleaning.
4	No signal found. Unable to return to the Station.	The Station is incorrectly placed.	Please place the Station correctly according to the instructions in the [CHARGE DEEBOT] section.
		The Station is out of power or manually moved.	Check whether the Station is connected to the power supply. Do not manually move the Station.
		The robot does not start cleaning from the Station.	It is recommended that the robot start cleaning from the Station.
		The charging route is blocked. For example, the door of the room with the Station is closed.	Keep the charging route clear.
5	The robot returns to the Station before it has finished cleaning.	The room is so large that the robot needs to return to recharge.	Please enable Auto Resume. For more details, please follow the App instructions.
		The robot is unable to reach certain areas blocked by furniture or barriers.	Tidy up the area to be cleaned by putting furniture and small objects in their proper place.

No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
6	The robot is unable to charge.	The Station is not connected to the power supply.	Make sure the Station is connected to the power supply and its indicator light is on.
		The robot's Charging Contacts are not fully in contact with the Station's.	Make sure that the robot's Charging Contacts have full contact with the Station's, and the button flashes. Check whether the robot's and Station's Charging Contacts are dirty. Please clean these parts according to the instructions in the [REGULAR MAINTENANCE] section.
		The battery temperature is too high or too low.	Please charge and use the robot within the temperature range of 0-40°C.
		The battery over-discharges due to prolonged periods of non-use.	It is recommended that you use this product regularly. If charging issues occur due to prolonged non-use, please contact customer service for assistance.
7	The robot is very loud during cleaning.	The Brush/Side Brush is entangled, or the Dust Bin/Filter is blocked.	It is recommended to clean the Brush, Side Brush, Dust Bin, Filter, etc. regularly.
		The robot is in Strong Mode.	Switch to Standard Mode.
8	The robot gets stuck while working and stops.	The robot is tangled with objects on the floor (electrical wires, curtains, carpet fringing, etc.)	The robot will try various ways to free itself. If it is unsuccessful, manually remove the obstacles and restart.
		The robot might be stuck under furniture with an entrance of similar height.	Please raise the furniture, set a physical barrier, or set a Virtual Boundary via the ECOVACS HOME App.
9	During cleaning, the robot may encounter issues like a disorderly route, biased movement, repeated passes over the same spots, and missing small areas. (If a large area is temporarily missed, rest assured that the robot will autonomously return to ensure thorough cleaning.)	Objects such as wires and slippers placed on the ground may obstruct the robot.	Before cleaning, please tidy up scattered wires, slippers, and other objects on the ground as much as possible. If there is any area missed during cleaning, the robot will correct it automatically. Please refrain from interfering (such as moving the robot or blocking its route).
		The Driving Wheels may slip on the ground when the robot climbs steps, thresholds, and door bars, which can affect its ability to navigate the entire home environment.	It is recommended to close the door of the affected area and cleaning it separately. After cleaning, the robot will return to its starting location. Please feel confident in using this method.
		On freshly waxed or polished floors, as well as smooth tiles, there may be less friction between the Driving Wheels and the floor.	Please wait for the wax to dry before cleaning.
		Due to different home environments, some areas cannot be cleaned.	Tidy up the home environment to ensure that the robot can enter for cleaning.
		The Navigation Module may be dirty or blocked by foreign objects.	Wipe it with a clean, soft cloth or clear any foreign objects.

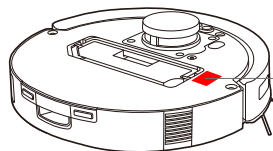
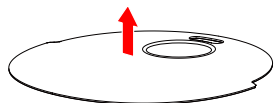
No.	Malfunction	Possible Cause	Solution
10	After returning to the Station, the robot does not empty its Dust Bin.	Manually moving the robot back to the Station might not trigger the Auto-Empty function.	It is recommended to let the robot return to the Station on its own. Please do not manually move it.
		In Do Not Disturb mode, the robot will not empty the dust after returning back to the Station.	Turn off Do Not Disturb in the ECOVACS HOME App or manually start dust-emptying.
		If the above possible causes have been ruled out, components of the Station may be abnormal.	Please contact customer service for assistance.
11	Auto-Empty unsuccessful.	The outlet of the Dust Bin is blocked by foreign objects.	Remove the Dust Bin and clear the foreign objects on the outlet.
12	Dust leakage occurs during working.	The outlet of the Dust Bin is blocked by foreign objects.	Remove the Dust Bin and clear the foreign objects on the outlet.
13	The Reservoir/Dust Bin drops off.	It is not properly installed.	Make sure it clicks into place.
14	Driving Wheels are stuck.	Driving Wheels are tangled or obstructed by foreign objects.	Rotate and press the Driving Wheels to check for any wrapping or obstruction by foreign objects. If any foreign objects are found, please clean them promptly. If this issue persists, please contact customer service for assistance.
15	The robot fails to perform Auto Resume.	The robot is in Do Not Disturb mode.	The robot cannot perform Auto Resume in Do Not Disturb mode.
		The robot does not automatically return to the Station.	Auto Resume will not take effect if you manually move the robot back to the Station.
16	The cleaning task is not conducted at the scheduled time.	The schedule has been canceled.	Reschedule the cleaning task.
		The robot's battery is low.	Charge it.
		The robot is in Do Not Disturb mode.	The robot cannot perform scheduled cleaning in Do Not Disturb mode.

TECHNICAL SPECIFICATIONS

Model	DKX55/DKX56		
Rated Input	20 V === 1 A	Charging Time	6.5 h
Auto-Empty Station	CH2403		
Rated Input	100 V ~ 50-60 Hz		
Rated Input Current (Charging)	0.5 A	Rated Output	20 V === 1 A
Power (Emptying)	1000 W		
DEEBOT Dimensions (L*W*H mm)	353*351*99		
Auto-Empty Station Dimensions (L*W*H mm)	356*451*380		

Output power of the Wi-Fi module is less than 100 mW.

Note: Technical and design specifications may be changed for continuous product improvement.
Explore more accessories at <https://www.ecovacs.com/global>.



Please use the mobile camera to scan the QR code and obtain the user guide.

Ecovacs Home Service Robotics Co., Ltd.

No.518 Songwei Road, Wusongjiang Industry Park, Guoxiang Street,
Wuzhong District, Suzhou, Jiangsu, China.

海森堡 AES 高标配 日本【完整版说明书】